専大スポーツ
No.468
【専大スポーツ】https://www.senshu-u.ac.jp/sports/
専大スポーツ編集部公式WEB
掲載記事を含む全文はコチラ↑
X @sensuponow
Instagram sensuponow

高見澤 優勝

500メートル　辻本 2位

全日本学生スピードスケート距離別選手権大会＝11月29～30日、群馬県・高崎健大伊香保リンク

500㍍で高見澤匠冴（経営4・小海高）が35秒86で1位、辻本楓芽（経営2・白樺学園高）が36秒11で2位となった。

今シーズンを占う大会で金メダルを獲得した高見澤は、「全日本クラスで優勝したことがなかったので、しっかりと結果を出せて良かった」と喜びをかみしめた。

年末にはミラノ・コルティナ五輪の選考会を兼ねた全日本選手権大会が控える。高見澤は「オリンピック出場を目指すのはもちろんだが、自己ベストである34秒台を狙いたい」と意気込む。（佐藤佑樹・経済2＝写真も）

宮坂 2種目制す

11月22～24日の全日本選抜競技会・釧路大会では、宮坂大地（経営1・白樺学園高）が1000㍍と1500㍍の2種目を制した。

ワールドカップ前半戦に参戦中の笠原光太朗（経営4・帯広三条高）もおり、今季もスピードスケート部に期待だ。（佐藤）

インカレ4位

甲斐 二つの個人賞獲得

甲斐の高い打点のスパイク

全日本バレーボール大学男子選手権大会＝12月2～7日、東京都・大田区総合体育館ほか

専大は4位で終え、甲斐優斗（経営4・日南振徳高）がベストスコアラー賞、サーブ賞を獲得した。

堀内大志（文4・日南振徳高）は「できることはやり切ったので後悔はない。フルセットの接戦が続いて苦しかったが、みんなと楽しくプレーできた」と専大バレーボール部が大事にする〝楽しむ〟姿勢を貫いた。（山中美琴・文3＝写真も）

堀 2度目の学生王者

堀（右）の強烈な右ストレート　撮影＝君嶋悠樹（経済2）

キックボクシング フライ級

全日本学生キックボクシング選手権大会決勝＝11月15日、文京区・後楽園ホール

9、10月の予選を勝ち抜き、フライ級決勝に東洋伝拳法部の主将・堀辰至（経営4・弘学館高）が出場。判定勝ちで2年ぶり2回目となる学生チャンピオンの座を勝ち取った。

堀は「学生最後の大会で、今まで以上に練習し、常に試合のことを考えて日常生活を送っていた」とこの試合に懸けていた。「タフな相手で、倒しきることができなかったのは正直悔しい。それでも勝つことが全て」と勝利を喜んだ。（佐藤）

※東洋伝拳法＝キックボクシングを主体に各種格闘技の特徴を取り込んだ武道。専大東洋伝拳法部は、全日本学生キックボクシング連盟の中心校として活躍している。

フリー61kg級　向田 準優勝

全日本大学レスリング選手権大会＝11月8～9日、大阪府・堺市金岡公園体育館

フリースタイル61kg級で向田旭登（経営4・花咲徳栄高）が2年連続となる準優勝。同65kg級で上村律心（経済3・高知南高）が3位入賞した。

向田は決勝で、昨年と同じく山梨学院大・須田宝選手に敗れた。「最後に勝ち切れない部分が課題だ。攻めるレスリングでしっかりポイントを取りきれたことは、成長だと感じている。天皇杯（全日本選手権＝12月18～21日）では必ず優勝し、アジア選手権の代表権を勝ち取る」と意気込みを語った。

上村は敗者復活戦を勝ち上がって3位。「試合を楽しむことができたが、勝負どころで負けないように鍛えなおしていく」と成長を誓った。（知地泰雅・文3）

男子エペ団体　全日本4位

全日本フェンシング選手権大会＝11月21～23日、青森県・むつマエダアリーナ

4年次生が引退し、新チームの力を示す試金石となった今大会。男子エペ団体で3位決定戦に進出したものの、日大に44―45で惜敗し、4位となった。

熊谷志孔（商2・北陸高）は「相手に対策されて自分たちの力を100%出し切れなかった。個々にレベルアップし、来年は関東学生リーグ戦をはじめ、多くの大会で優勝したい」と語った。（佐藤）

堅守光る2位

大谷亜蓮（経営3・國學院大栃木高）の力強い突破　撮影＝佐俣莉子（法1）

関東大学ラグビーリーグ戦（2部）＝9月14日～11月23日、神奈川県・専大伊勢原グラウンドほか

朝鮮大との開幕戦に67―7で快勝すると、前半戦を全勝で折り返した。後半戦も山梨学院大に完封勝利、拓大を10失点に抑えて無傷の6連勝。しかし優勝をかけた中大との最終戦は、試合終了間際のペナルティーゴールで逆転を許して敗れ、6勝1敗で2位となった。

今季は春から強化してきたディフェンス力を発揮し、リーグ最少のトータル60失点と圧倒的な堅守を見せた。目標としていた全勝優勝はかなわなかったが、着実にチームは進歩している。（藤林利英・文2）

5年ぶり2部復帰

関東大学サッカーリーグ戦2部参入プレーオフ決定戦＝11月22日、埼玉県・埼玉スタジアム

3部リーグ戦を4位で終えた専大は、國學院大（2部9位）に1―0で勝利し、5年ぶりの2部復帰を決めた。

前半30分に中盤での素早い寄せからボールを奪取。「パスという選択肢もあったが、思い切って振り抜いた」と、志村ぽん（経済3・韮崎高）が得意の左足でミドルシュートを決めて先制。粘り強い守備で虎の子の1点を守り切った。（竹田一爽・文4＝写真も）

値千金のシュートを決め、喜びを爆発させる志村（左）